

和 気 品
合 魄 位

高島市立マキノ中学校

学校だより



文責：校長 清水

「新しい自分」を創造することについて

2月13日(木)に第4回学校運営協議会を開催しました。年度末に近づき、今年度の教育活動を振り返り、意見を交流しました。マキノ中学生のよさは、課題に真面目に取り組むことや、係活動等をはじめ自らの役割を誠実に果たすこと、協力できること、挨拶をすること等が挙げられ、落ち着いてよくやっていると感心されていました。その後、「やる気をもって授業に取り組むこと」や「夢や希望をもつこと」という話題にも触れました。

授業においては、今後も生徒の興味・関心を高めることや、知識理解が深まるように工夫することが必要であると再認識しました。また、「夢や希望をもつこと」については、さまざまな職業について調べたり聞いたりする場を充実したり将来についてじっくりと考える時間を工夫したりすることが大切ではないかと感じました。これらを参考にし、次年度の教育活動にいかしていきたいと考えております。

さて、思春期に入り、子どもたちは自分のことや社会を見つめる目が育ってきます。心身ともに大きく成長してきます。特に中学生は、中学卒業後の将来の道を探りはじめます。そんな折、自分と向き合い、どうすればよいか悩みを抱えます。しかし、この悩みや苦しきは「新しい自分」をつくることにつながることを意味していると思います。

「自分はどうかありたいか」「今、自分はどうかしたか」「自分の道を進むために、今、何をしたらよいか」「自分の道を進むために、何が必要となるのか」「自分のよさは何か」「少しでも人のためになることは何か」「生

きていくために、生活していくために、何が大事か」等、「自分で自分のことを問う」時期でもあります。四六時中考え、追い込むことはないと思います。このようにしていたら、しんどくなるばかりです。ただ、「この問い」があつてこそ「新しい自分」を創造することにつながると考えます。軽やかに「この問い」を探ることが自分の道を切り拓くのではないかと思います。

また、日々の課題や今やることを自分なりにコツコツとすることが「新しい自分」を創造することにつながると考えます。自分なりの地道な積み重ねが大きな力となり、これが自分を支え、自分の道となると考えます。ここに至る経験はいつか「できるようになった」「成長した」と感じさせるでしょう。

では、わたしたち大人は思春期の子どもにどう寄り添ってよいか悩みます。「こうしたらよい」と子どもに助言しがちです。「人生は教えられない」とある著書の中で読んだことがあります。よりよいアドバイスをすることは難しいです。言うことは簡単ですが、「聴くこと」や「意見を丁寧にやり取りすること」が寄り添うことになるのではないかと思います。また、ある本の中に、「温かいおにぎりを握って食べさせてあげた。これを機に、ある人は立ち直っていった。」という記述があります。ここにも寄り添うヒントがあるのではないかと思います。

思春期は「新しい自分」を創造する時期です。子どもが大きく成長する時期です。そんなときだからこそ、子どものために、一緒に考えていきたいと心を新たにしています。

感謝の除雪ボランティア

2月に入り雪が降り積もりました。大きな除雪機で、朝早くから職員玄関前や生徒昇降口等を開けていただき感謝申し上げます。さて、登校前に職員が除雪しているところを1年生の生徒らがみかけて、「先生、

手伝いましょうか」「どこを除雪したらいいですか」と声



をかけ、自主的に除雪してくれました。また、その姿をみて、何も言わずにスコップを取ってきて自転車小屋前等を手伝ってくれる生徒もいました。温かい心にふれることができ、嬉しく思います。ありがとうございました。

活躍した冬季体育大会(スキー競技)

1月9日に開催されたスキージャイアントスラローム競技の結果、3年生の小川隼さん(県1位)

と1年生川田蒼海さん(県3位)が2月上旬からの全国大会に出場しました。二人とも活躍し、小川さんはこの大会でも近畿1



位となりました。また、クロスカントリー競技においては、2年生の今井駿さんも県大会に出場し、近畿大会への出場が決まっていました。ただ、近畿大会は雪不足のため中止となりました。3名の選手の活躍を讃えたいと思います。

スクールカウンセラーによる授業より

3学期は各学年「心の授業」と題して、本校のスクールカウンセラーである田中先生が授業をしました。その内容を一部紹介します。

◎「コミュニケーションはキャッチボール」。自分の気持ちを大事にして相手にわかってもらいやすい伝え方や振る舞いを考えて伝える。そうでないと相手は分からない。また、相手の言葉も丁寧に受け取る。行き違いや誤解が生まれやすいので、「おたがいさま」ということも考えてコミュニケーションを図ることが大切ではないか。

◎「ストレスとうまく付き合う」ために、日常生活では、しっかりと寝ることや、栄養を摂ること、短時間でも運動して筋肉を動かすこと等がいいのでは。緊張する場面では、深呼吸(腹式呼吸)や、意識を下にさげること(例・・足に注意を払う、足を触る)、漸進的筋弛緩法(例・・手のひらを力強く握りに、その後ゆっくり手のひらを広げて力を抜く)等を取り入れてみればいいのか。多種多様な対処方法があるので、自分にあったものを見つけ、ストレスと上手く付き合いながらいろんなことにチャレンジしてみよう。

3月の主な行事予定

- 3月5日 滋賀県立高校一般選抜
- 7日 3年生を送る会
- 10日 同窓会入会式 卒業式予行
- 11日 第77回卒業証書授与式
- 14日 学校運営協議会(13時30分)
- 17日 生徒会の日
- 19日 大掃除
- 21日 給食終了
- 24日 修了式【完全下校12時15分】
- 25日 学年末休業

【4月8日 令和7年度始業式・入学式】
※日程等変更がありましたら、学年通信等でお知らせします。ご了承ください。